

「認知症市民フォーラム in うき2018」 安心して暮らせる地域づくりを目指して



運動と脳のトレーニングを組み合わせた体操も実践

10/13 認知症を正しく理解してもらうフォーラムが小川町のラポートで開かれ、地元団体による若年性認知症を題材にした劇や専門家による講演、事例報告などがありました。宇城市認知症を考える会、市、エーザイ株式会社の共催。講演では、鹿児島大学医学保健学科の牧迫飛雄馬教授が、体を動かしながら頭を働かすことや社会と積極的につながる事が大事だと伝えていました。事例報告では認知症の家族を介護してきた吉田恵子さんが、自らの体験を基に支援のあり方や早めに検査を受けることの重要性などを訴えました。

宇城市物産展「第14回宇城市食とモノの祭典」 宇城市の名産品・特産品が集結

10/13・14 市物産展が小川町のイオンモール宇城で開催され、野菜や新米、工芸品などを求め、多くの人が来場しました。ステージでは、「肥後こま」や「やうちブラザーズ」の観客を巻き込んだパフォーマンス、地元団体の小川一八会やうき神興 & 鼓ター心会の踊りなどが披露され、観客席からは笑い声や拍手が飛び交っていました。夫婦で新米すくいに挑戦した田中功治さん(65)＝不知火町＝は「あまりすくえなかったけれど、楽しめた。販売ブースで竹細工も出品し、風車がよく売れた。来年も参加したい」とほほ笑んでいました。



市内外から訪れた多くの人でにぎわった販売ブース

「シェアリ(育児も料理もシェアしてニコリ)のランチ & 夜ごはんシェア会」 料理シェアで子育ての負担を軽減



全員で作った豆腐ハンバーグランチが並んでいました

10/17 子育て中の母親同士が交流を深めながら手作りの料理をシェアする会が松橋町の6区コミュニティセンターで開かれ、親子10組が参加しました。子育ての負担軽減の手伝いができたらと松橋町の藤本直子さん(37)と不知火町の杉本遥さん(31)が企画したもの。この日は、昼食だけでなく夕食用の唐揚げなども準備。参加者たちは、情報交換しながら調理を楽しみました。1歳の娘と参加した松橋町の坂本知香子さん(37)は「子どもたちが自由に遊べ、夕飯の準備までできた。また参加したい」と笑顔で話していました。

不知火中マンドリン部 マンドリンの演奏で最優秀賞

10/6 「第51回RKK県中学校器楽合奏コンクール」が開かれ、不知火中学校マンドリン部が最優秀賞を受賞しました。12校が参加した中学校Bの部では4校が金賞。不知火中は金賞の中から1校だけ選ばれる最優秀賞に輝きました。これは第43回以来8年ぶりのことです。

3年生で部長の江口花美さんは「去年は銀賞だったので、今年目標は金賞だった。最優秀賞と呼ばれたときには全く予想していなかったので、みんなで顔を見合わせて驚いたけれど、とてもうれしかった」と喜びを語りました。



最優秀賞に輝いた不知火中マンドリン部の部員たち

上本庄雨乞い太鼓「天神丸」 137年前の伝統を引き継ぐ



早楽の奉納を見学

10/9 三角町の郡浦神社で秋の例大祭に合わせて雨乞い太鼓が奉納されました。これは、雨乞いや五穀豊穡を祈ったのが始まりとされるもの。上本庄雨乞い太鼓保存会(片山哲也会長)の会員などが区から神社までの道を練り歩き、ゆつくりと太鼓を叩く「道楽」に合わせて笛や鐘を鳴らしていました。境内では、祈願のために早いテンポで太鼓を叩く「早楽」が奉納された後、青海小の子どもたちも元気いっぱい太鼓の音を響かせていました。片山会長は「先人が残した貴重な太鼓を大切に保存し、引き継いでいきたい」と話していました。

体操教室「わくわくちびっこフォーラム」 運動を通して園児の交流

10/12 体操教室が不知火体育館で開かれ、不知火保育園と豊野保育園の年長児53人が参加しました。両園とそこで体操を教えているアプアスクール(遠藤知道代表)が園児たちの交流を目的に開いたもので7回目の開催。両園の合同チームでリレーをした後、集中力などを養う「忍者ゲーム」が行われ、「山」、「石」など先生の掛け声で、子どもたちは機敏にポーズをとっていました。1位になった豊野保育園の杉本依皇奈ちゃん(5)は「家でもいっぱい練習した。1位になれてうれしかった」と笑みをこぼしました。



忍者ゲームの「壁」のポーズ 手を伸ばしぴたりと静止

松橋支援学校と豊川小学校が合同避難訓練 災害を忘れずに津波対策を考える



車椅子の児童生徒は、教員らが2階へ抱えて上りました

10/22 松橋支援学校と豊川小学校が、震度7の地震により津波が発生したとの想定で、合同避難訓練を行いました。

松橋支援学校は、周辺の海拔が低く校舎も平屋建てのため、児童生徒90人は徒歩や車椅子で豊川小学校の2階へ避難。地震発生から避難完了までかかった時間は12分30秒でした。

松橋支援学校では、熊本地震の経験から車椅子での避難経路の確認や避難所での過ごし方などについて生徒自身が調べるなど災害に関する学習にも力を入れています。

「第10回あここの樹の会」 三角西港から文化発信



園児たちも真剣に耳を傾けていました

10/26～28 三角西港一帯で、あここの樹の会が開催されました。これは、三角西港を舞台に絵画や手芸、三曲(箏・三絃・尺八)やハワイアンの演奏など日頃培った成果を発信しようとの思いで開かれているもので、今年で10回目。秋空の下、多くの来場者でにぎわいました。

初日には、法の館で四丸省司さん、前田明子さんによる朗読も行われました。新聞記事や投稿の読み上げや、リクエストに応えた絵本の朗読など、来場者はバラエティ豊かな朗読を楽しんでいました。

里親講座 まずは制度を知り、一人一人ができることで支援を



地域全体で里親を見守ってほしいと説明がありました

10/26 何らかの事情で家庭での養育が受けられなくなった子どもたちに、温かい愛情と正しい理解を持った家庭環境での養育を提供する「里親制度」。社会全体で子どもを育てることの大切さを伝えるための講座が市役所で開かれました。里親の種類や条件、県の現状などの説明があり、市在住の養育里親から、里親になったきっかけや受け入れ後の家族の変化など実体験に基づいた話もありました。参加者からは「周りの人にも伝えたい。もし里親になる人がいたら地域の一人として支えたい」などの声が上がっていました。

文化庁「文化芸術による子供の育成事業」豊川小学校で関西フィルハーモニー管弦楽団の演奏 プロの迫力ある演奏を体感

10/18 関西フィルハーモニー管弦楽団によるオーケストラ公演が、豊川小学校で行われ、全校児童や地域住民など約300人が迫力ある生演奏を楽しみました。クラシックの名曲や日本民謡のメドレーなどの演奏や、弦楽器・木管楽器など各楽器の音を出しながらの紹介、同小器楽部によるアコーディオンなどでの協演もあり、最後は、6年の廣田彩七さんの指揮によるオーケストラの伴奏で校歌を合唱しました。廣田さんは「オーケストラの生の演奏の音とみんなの歌声に挟まれて迫力があつた」と笑顔で話していました。



会場全体で「さんぽ」を合唱

ママたちが企画した「ワンコインまつり」 子どもも大人もみんなが笑顔になれた1日

10/21 小川町のビジネスサポートセンターで未就学児を対象にしたイベントが開かれました。これは、市が取り組む起業家支援セミナーなどに参加している、市内の母親たちが企画したもの。親子でゆっくり楽しめる時間を作ろうと田中友里さん(29)＝小川町＝が中心となり初めて開催しました。看板やチラシなど全てを手作りし、お菓子のつかみ取りなど6種類ができるチケットを500円で販売。子どもたちはお目当てのブースで楽しみました。田中さんは「今後も親子が楽しめるイベントをしていきたい」と話していました。



欲しいものを釣ったお菓子・おもちゃ釣りのブース

「第9回済生会健康フェスタ」 必見！体験！楽しいけん！

10/21 済生会みすみ病院で「健康フェスタ」が開かれました。この日は天候にも恵まれ、過去最多となる1,304人の来場者でにぎわいました。

病院内には外科手術疑似体験やお薬相談などさまざまなコーナーが設けられ、コーナーを巡るスタンプラリーには家族連れなどが多数参加。参加者たちは、普段はなかなかできない体験を楽しみながら健康について学びました。また、メインステージでは地元保育園や小学校の楽器演奏などに加え、健康づくり講演会も開かれ、来場者は聞き入っていました。



脳卒中についての講演がありました

県婦人会連合会「第15回都市対抗ミニバレー大会」 スポーツを通じて交流を深める



見事準優勝に輝いた宇城市Aチーム

10/28 不知火体育館で都市対抗ミニバレー大会が開かれました。これは、県婦人会連絡協議会が毎年、会員相互の親睦と健康増進を目的に実施しているもので、昨年に引き続き、宇城市で開催されました。

開会式では守田憲史市長が「宇城市へようこそ。ミニバレーの後は温泉やおいしいもので宇城市を満喫してください」とあいさつ。参加した16チーム(うち宇城市は3チーム)による熱戦の結果、昨年度優勝の宇城市Aチームが今年も準優勝の好成績を収めました。

株式会社ケイ・エフ・ケイ小川が日本緑化センター会長表彰を受賞 緑とふれあえる環境づくりに貢献

10/31 第37回工場緑化推進全国大会が東京都で開かれ、小川町の株式会社ケイ・エフ・ケイ小川が、工場緑化を積極的に推進し工場内外の環境向上に顕著な功績のあった工場として、日本緑化センター会長表彰を受賞しました。

工場建設時から、自然を壊さず周辺景観に適合できるように、200本のクヌギを植栽するなどの緑地整備を実施していることなどが評価されました。芝生地は、地域住民もグラウンドゴルフを楽しめるよう開放されており、ドクターヘリの発着にも使用されています。



地域住民にも開放されている広場

不知火町御領5区で認知症高齢者の搜索訓練 備え、方針を立てることで冷静な対応につなげる



グループで搜索方法を確認

11/4 認知症高齢者の搜索訓練が、不知火町御領5区の児童公園であり、区民や消防団など約60人が参加しました。認知症を正しく理解しながら、搜索の心構えや対応方法を学ぼうと初めて企画されたもので、同区の主催。参加者は4班に分かれ、行方不明者を搜索。服装などの情報を頼りに区内を探し、発見するとゆっくりと近づき優しく声を掛けながら保護。対策本部が置かれた公園に連れ帰りました。区長の松尾恵介さん(67)は「区民約700人のうち3割が60代を超えている。備えておくことで、冷静な対応につながれば」と話しました。

熊本南病院「第11回健康かがやき祭」 交流を深めながら健康づくりを

10/27 地域の人たちとのふれあいの場「健康かがやき祭」が熊本南病院で開かれ、約650人が訪れました。健康への関心を高めてもらおうと、同院が毎年開催。訪れた人たちは、医師と共に胃などの模型を使った内視鏡検査や看護師らによる血糖値測定などを体験しました。他にも、ひまわり保育園児による太鼓演奏や生活習慣病の改善の大切さを訴える医学講演、松橋中吹奏楽団によるコンサートなども行われていました。天草市から訪れていた小井手フィ子さんは「健診を受けてみようと思えるきっかけになった」と話しました。



モニターを確認しながら操作した内視鏡操作体験

10月27日・28日 11月3日・4日「宇城市民文化祭」 芸術の秋を体感



ロビーには所狭しと作品が並んでいました

宇城市民文化祭が小川町のラポートで開かれ、多くの来場者でにぎわいました。これは、文化や伝統に触れることで、市民文化の向上と発展を目指すことを目的として開かれているもので、宇城市文化協会(上村博孝会長)の主催。

ステージでは、市民がコーラスやカラオケ、ダンス、日本舞踊など、日頃の練習の成果を披露。来場者からは大きな拍手が送られていました。展示コーナーでは、書や絵画、パッチワーク、盆栽などさまざまな作品が並び、訪れた人はそれぞれの感性が表現された作品に見入っていました。

「第3回ピラミッドヨガフェスタ」 海風を感じながらヨガを楽しむ

10/28 三角東港の海のピラミッド前広場でピラミッドヨガフェスタが開かれました。地元のヨガ愛好家らによる実行委員会が主催。3回目となる今年は約300人が参加しました。

9人の講師により、初心者から上級者向けまでの幅広い内容で実施。広場の芝生にヨガマットを敷き、海辺の開放的な雰囲気の中、ヨガを楽しんでいました。参加者からは「一度にいろいろな先生の講座を受けることができたのがとてもよかった。野外の雰囲気もリラックスできた」との感想が聞かれました。



開放的な雰囲気でヨガを楽しみました